

(様式第 9)

自医病経第 121 号
平成 21 年 10 月 2 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人 自治医科大学
理事長 香山 充

自治医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 20 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	123 人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	660人	47.7人	707.7人	看護業務補助	10人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	20人	2.5人	22.5人	理学療法士	15人	臨床検査技師	110人
薬剤師	57人	0人	57人	作業療法士	6人	衛生検査技師	0人
保健師	2人	0人	2人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	47人	1人	47.2人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	1,052人	62人	1,095.9人	臨床工学技士	17人	医療社会事業従事者	7人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	0人	その他の技術員	13人
歯科衛生士	7人	2人	8.8人	歯科技工士	1人	事務職員	85人
管理栄養士	11人	0人	11人	診療放射線技師	61人	その他の職員	9人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	898人	12人	910人
1日当たり平均外来患者数	2,559人	139人	2,698人
1日当たり平均調剤数	2,497剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	40人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜瘢痕、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷瘢痕その他の重症の瘢痕性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	16人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体室素処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	1人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテララーメドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍搔爬術後若しくは骨髄炎搔爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
菌周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(菌周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・無	0人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾患の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	0人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	0人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIH)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	186人
---------------------------	-----	------

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	86人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	31人
・多発性硬化症	76人	・ウェゲナー肉芽腫症	7人
・重症筋無力症	116人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	32人
・全身性エリテマトーデス	374人	・多系統萎縮症	37人
・スモン	1人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人
・再生不良性貧血	63人	・膿疱性乾癬	7人
・サルコイドーシス	136人	・広範脊柱管狭窄症	37人
・筋萎縮性側索硬化症	47人	・原発性胆汁性肝硬変	34人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	197人	・重症急性膵炎	7人
・特発性血小板減少性紫斑病	130人	・特発性大腿骨頭壊死症	29人
・結節性動脈周囲炎	40人	・混合性結合組織病	59人
・潰瘍性大腸炎	219人	・原発性免疫不全症候群	3人
・大動脈炎症候群	44人	・特発性間質性肺炎	12人
・ビュルガー病	28人	・網膜色素変性症	25人
・天疱瘡	31人	・プリオン病	1人
・脊髄小脳変性症	106人	・原発性肺高血圧症	7人
・クローン病	115人	・神経線維腫症	9人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	6人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	4人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・パーキンソン病関連疾患	271人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	5人
・アミロイドーシス	6人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	3人
・後縦靭帯骨化症	86人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	5人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	8~12回/月(130回/年程度) 放・呼・骨の剖検等		
剖 検 の 状 況	剖検症例数	66例	剖検率 9.0 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
自己免疫疾患に関する調査研究	岡崎仁昭	アレルギー膠原病学	110万円	厚生労働科学研究費補助金
				補委

計 1

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The Open General and Internal Medicine Journal	ribosomal-P antibody and chemokines in neuropsychiatric syndromes of systemic lupus erythematosus.	吉尾 卓	アレルギー膠原病学
Lupus	Massive intractable pericardial effusion in a patient with systemic lupus erythematosus treated successfully with pericardial fenestration alone.	釜田 康行	アレルギー膠原病学
Clin Rheumatol	Steroid-refractory severe hepatic failure in adult onset Still's disease responding to cyclosporine.	長島 孝夫	アレルギー膠原病学
Rheumatol Int	Polyarthritis induced by nonepisodic angioedema associated with eosinophilia.	長島 孝夫	アレルギー膠原病学
J Rheumatol	Increase in Plasma levels of adiponectin after administration of anti-tumor necrosis factor agents in patients with rheumatoid arthritis.	長島 孝夫	アレルギー膠原病学
Rheumatology Advance Access published	Long-term tocilizumab therapy in a patients with rheumatoid arthritis and chronic hepatitis B.	長島 孝夫	アレルギー膠原病学
Rheumatol Int	Protein-losing gastroenteropathy associated with primary Sjögren's syndrome: a characteristic oriental	長島 孝夫	アレルギー膠原病学
Rheumatology	Urinary β 2-microglobulin as a sensitive marker for haemophagocytic syndrome associated with collagen vascular	大西 佐知子	アレルギー膠原病学
Lab Invest	Chitinase 3-like-1 enhances bacterial adhesion to colonic epithelial cells through the interaction with bacterial chitin-binding protein.	永谷 勝也	アレルギー膠原病学
Gastroenterology	TNF receptor type I-dependent activation of innate responses to reduce intestinal damage-associated mortality.	永谷 勝也	アレルギー膠原病学
日内会誌	生涯教育の担い手としての総合内科専門医. 日内会誌	岡崎 仁昭	アレルギー膠原病学

計 11

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	

計

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日小整会誌 17:232-236, 2008	先天性内反尖足の手術治療成績(術後のうちわ歩行について)	吉川一郎、渡邊英明	とちぎ子ども医療センター
日小整会誌 17:288-291, 2008	B群溶血連鎖球菌による新生児化膿性股関節炎の1例	石川りか、吉川一郎、渡邊英明	とちぎ子ども医療センター
日小整会誌 17:1-3, 2008	乳児の急性血行性鎖骨骨髄炎の1例	渡邊英明、吉川一郎	とちぎ子ども医療センター
日本創外固定・骨延長学会雑誌 19:135-13	下肢骨幹端部開放骨折に対するlocking compression plateを用いたMIPOによるconversion	松村福広、吉川一郎、星野雄一	自治医大整形外科
東日本整形災害会誌 20:176-181, 2008	人工股関節周辺骨折に対するlocking compression plateを用いたMIPOの治療経験(cable plate system)	松村福広、吉川一郎、星野雄一	自治医大整形外科
Eur J Orthop Surg Traumatol 18:9-13,	A case of cervical kyphosis after a minor trauma.	Ichiro Kikkawa, Hideaki Watanabe	とちぎ子ども医療センター
J Orthopaedic Surg 16:237-40, 2008	The use of hydroxyapatite blocks for innominate osteotomy: a report of three cases.	Masahide Amemiya, Ichiro	とちぎ子ども医療センター

計 7

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	

計

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床精神病理29:157-166	現代のうつ病像－症状構成とライフステージ	阿部隆明	子どもの心の診療科

計 1

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日鼻誌	中頭蓋底進展上顎洞癌に対する非開頭手術による頭蓋底手術成績	西野 宏, 他	耳鼻咽喉科学
日鼻誌	オスラー病の鼻出血にどう対処するか?	市村 恵一	耳鼻咽喉科学

計 2

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限り)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
精子受精能獲得におけるリン酸化・脱リン酸化メカニズムの解明	鈴木達也	産科婦人科学講座	2,080,000	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手研究B)
子宮内膜症の発生机序の解明と分子標的治療の開発	藤原寛行	産科婦人科学講座	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費補助金(基盤研究C)
絨毛細胞内Hemo oxygenase-1制御系の解明並びに胎盤免疫染色法の開発	鈴木寛正	産科婦人科学講座	2,080,000	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手研究C)
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 3

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門

計

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業	八木澤 隆	腎泌尿器外科学講座 腎臓外科学部門	600,000円	補委	厚生労働省
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	

計 1

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
移 植	腎移植臨床登録集計報告(2009)-1 2008年実施症例の集計報告	八木澤 隆	日本臨床 腎移植学会

計 1

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
心身医学 48:965-970	身体表現性障害と語り NBMにおける語りの治療的意義の検討	岡島美朗	精神医学
日本音楽療法学会誌 8:3-12	うつ病に対する即興個人音楽療法の内分泌・免疫学的研究	山下晃弘	精神医学
精神神経学雑誌 111:250-271	高齢初発統合失調症の臨床精神病理的研究 大学病院精神科病棟入院患者を中心にして	安田 学	精神医学
PAIN RESEARCH 24: 17-22	腰痛軽快後の自殺関連症状 うつ病患者を対象にして	吉田勝也	精神医学
Psychiatry and Clinical Neurosciences 62:	Alterations in prefrontal cortical activity in the course of treatment for late-life depression as assessed	Onishi, Y.	精神医学
Neurotoxicology 29:1030-1036	Risperidone attenuates and reverses hyperthermia induced by 3,4-methylenedioxymethamphetamine (MDMA) in	Shioda, K.	精神医学
Neuroscience Letters 438:67-69	Oseltamivir (Tamiflu) increases dopamine levels in the rat medial prefrontal cortex.	Yoshino, T.	精神医学

計 11

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
依存性薬剤であるMDMAと覚せい剤の中毒に対するフリーラジカルの関与とその治療法	西嶋康一	精神医学	500,000	補委 文部科学省
日系ブラジル人児童・生徒の日伯比較メンタルヘルス調査	近藤 州	精神医学	600,000	補委 文部科学省
				補委
				補委
				補委

計 2

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
精神医学史研究 12: 39-49	エランベルジェと力動精神医学の歴史 Ellenbergerにおける宗教病理学 「神話 解放運動」論を中心に	加藤 敏	精神医学
日本病跡学雑誌 76: 4-23	アウグスティヌスにおける抑うつと信仰、 創造 メランコリー性語りとパラノイア性 語り	加藤 敏	精神医学
精神神経学雑誌 111: 335-346	統合失調症の現在 進化論に注目して	加藤 敏	精神医学
精神神経学雑誌 110: 764-769	脆弱性モデルからレジリアンスモデルへ 統合失調症のレジリアンス	小林聡幸	精神医学
老年精神医学雑誌 20: 30-41	【創造性と老年期精神神経疾患】 筆を折 るヨーゼフ・ハイドン わが力尽き果て ぬ、われは老いわれは弱りぬ	小林聡幸	精神医学
臨床精神病理 29: 123-137	予定体験と自由のディスクール	小林聡幸	精神医学
臨床精神病理 37: 357-364	【脆弱性とレジリエンス】 精神病理学の 視点からみたうつ病のレジリアンス	小林聡幸	精神医学
臨床神経生理学 36: 513	総当たり解析を用いた静脈注射嗅覚刺激を 課題としたfMRI研究	菊地千一郎	精神医学
日本社会精神医学会 雑誌 17: 267-276	密接な母親-患者関係を示した統合失調症 患者の2例 長期経過の観察から	野口正行	精神医学

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Skeletal Radiol	Distinguishing benign notochordal cell tumors from vertebral chordoma.	山口岳彦	病理診断部 (人体病理)

計 1

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Interactive Cardiovasc Thorac surg 7:646-467	Extraanatomical ascending-abdominal aorta bypass with stump closure for aortic graft infection	相澤啓	心臓血管外科
胸部外科 61(8):662-666	適正輸血と輸血合併症	小西宏明	心臓血管外科
Genes to Cells 14(1):69-77	Genome-wide histone methylation profile for heart failure	金田るり	心臓血管外科

計 3

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
白血球-内皮相互反応の麻酔による外科治療低侵襲化	佐藤幸夫	呼吸器外科	110万円	補委	文部科学省
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	

計 1

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
胸部外科61(5):375-378	下位胸壁浸潤肺癌に対する胸腔鏡補助下胸壁合併肺葉切除術	遠藤俊輔	呼吸器外科
Ann Thorac Surg 87(2):e9-10	A dangerous venous variation in thoracoscopic right lower lobectomy	遠藤俊輔	呼吸器外科
外科研修チェックノート 215-220	肺癌	遠藤俊輔	呼吸器外科
胸部外科61(10):866-866	まい・てくにつく;肺癌区域切除における区域間切離のコツ	遠藤俊輔	呼吸器外科
胸部外科61(11):993-995	血清ProGRPが異常高値を示した非定型的カルチノイドの1例	遠藤哲哉	呼吸器外科
Ann Thorac Cardiovasc Surg 14(4):205-209	Reexpansion pulmonary edema	蘇原泰則	呼吸器外科
臨床研修プラクティス 5(5):35-44	胸腔穿刺・胸腔ドレナージ	長谷川剛	呼吸器外科
Long life11(4):14-15	体に優しい手術～胸腔鏡下手術	佐藤幸夫	呼吸器外科
臨床研修プラクティス 5(5):45-46	再膨張性肺水腫	手塚憲志	呼吸器外科

計 9

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	

計

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Leuk Lymphoma, vol. 50, p.290-293.	Prediction of response to imatinib in patients with chronic myelogenous leukemia by flow cytometric analysis of bone marrow blastic cell phenotypes.	Kazuo Muroi	輸血・細胞移植部
Int J Hematol, vol. 88, p.351-354	Maintenance and preemptive therapy with ganciclovir for cytomegalovirus colitis with extremely high antigenemia in adult T-cell leukemia.	Kazuo Muroi	輸血・細胞移植部
Oncogene, vol.28, p.231-242.	Bortezomib overcomes cell-adhesion-mediated drug resistance through downregulation of VLA-4 expression in multiple myeloma.	Kazuo Muroi	輸血・細胞移植部
Int J Hematol, vol. 88, p.351-354.	Sperm cryopreservation in patients with hematologic malignancies.	Kazuo Muroi	輸血・細胞移植部
臨床血液, vol.49, p.397-407.	Flow cytometryを用いた白血病の微小残存病変の検出.	室井一男	輸血・細胞移植部

計 5

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	

計

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
癌と化学療法 35:273-276	当科における進展型小細胞肺癌に対する Amrubicin Hydrochloride単剤療法の検討	川上正敬	内科学講座 呼吸器内科学部門
日呼吸会誌 46:325-330	小細胞肺癌に合併し免疫グロブリン大量療法が奏 効した腫瘍随伴性小脳変性症の1例	川上正敬	内科学講座 呼吸器内科学部門
日呼吸会誌 46:379-384	気胸で発症した子宮平滑筋肉腫肺転移の1例	水品佳子	内科学講座 呼吸器内科学部門
日呼吸会誌 46:336-340	複数回のDLSTが被疑薬同定に有用であった propiverineによる薬剤性肺炎の1例	中山雅之	内科学講座 呼吸器内科学部門
日呼吸会誌 46:820-823	著明な末梢血好中球増多を示したミノサイクリンに よる急性好酸球性肺炎の1例	山沢英明	内科学講座 呼吸器内科学部門
Respirology 13:263- 269	Torque teno virus DNA titre elevated in idiopathic pulmonary fibrosis with primary lung cancer	坂東政司	内科学講座 呼吸器内科学部門
Eur J Radiol 65:462- 267	Acute eosinophilic pneumonia: Thin-section CT findings in 29 patients	大門皇寿	内科学講座 呼吸器内科学部門
Respirology 13:926- 928	Idiopathic pulmonary fibrosis—results from a Japanese nationwide epidemiological survey using individual clinical records	大野彰二	内科学講座 呼吸器内科学部門
PNAS 105 19893- 19897	A mouse model for EML4-ALK-positive lung cancer	曾田 学	内科学講座 呼吸器内科学部門
Respiration 75:350- 354	Drug-induced pneumonitis associated with imatinib mesylate in a patient with idiopathic pulmonary fibrosis	山沢英明	内科学講座 呼吸器内科学部門

計 10

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
トキシコゲノミクス研究の臨床への展開	藤村 昭夫	薬理学講座 臨床薬理学部門	59,429,000	補委 厚生労働省
時計遺伝子に着目したインスリン抵抗性発症機序の機序解明	牛島 健太郎	薬理学講座 臨床薬理学部門	1,260,000	補委 文部科学省
日本臨床薬理学会認定制度を基本とした臨床研究体験型教育プログラムの開発研究	藤村 昭夫	薬理学講座 臨床薬理学部門	3,000,000	補委 厚生労働省
体内時計機能障害と関連する生活習慣病の病態解析	安藤 仁	薬理学講座 臨床薬理学部門	1,000,000	補委 (財)大和証券ヘルス財団
骨粗鬆症治療薬の時間治療の試み	安藤 仁	薬理学講座 臨床薬理学部門	2,000,000	補委 (財)臨床薬理研究振興財団
骨粗鬆症治療薬の有害反応を軽減する時間治療の試み	安藤 仁	薬理学講座 臨床薬理学部門	800,000	補委 (財)骨粗鬆症財団
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 6

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Exp Pharmacol Physiol 35:1012-1017, 2008	Effects of atorvastatin and pravastatin on glucose tolerance, adipokine levels and inflammatory markers in hypercholesterolaemic	Ando H	薬理学講座 臨床薬理学部門
Xenobiotica 38:1355- 1364, 2008	Human CYP3A4-introduced HepG2 cells: in vitro screening system of new chemicals for the evaluation of CYP3A4-inhibiting activity.	Araki N	薬理学講座 臨床薬理学部門
Br J Clin Pharmacol 65:442-443, 2008	Certified Clinical Pharmacologist Board, The Japanese Society of Clinical Pharmacology and Therapeutics. Current status of clinical	Fujimura A	薬理学講座 臨床薬理学部門
Eur J Pharmacol 596:166-172, 2008	Evaluation of the interaction between nonsteroidal anti-inflammatory drugs and methotrexate using human organic anion	Maeda A	薬理学講座 臨床薬理学部門
Chronobiol Int 25:808- 818, 2008	Dosing time-dependent effect of raloxifene on plasma fibrinogen concentration in ovariectomized rats.	Tsuruoka S	薬理学講座 臨床薬理学部門
Nephron Physiol 110:11-20, 2008	Mechanism of Cd-induced inhibition of Na-glucose cotransporter in rabbit proximal tubule cells: roles of luminal pH and membrane-bound	Tsuruoka S	薬理学講座 臨床薬理学部門

計 6

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Clin Hypertens (Greenwich) 2008;10:787-794	Cardiovascular risks of dipping status and chronic kidney disease in elderly Japanese hypertensive patients.	石川 譲治 荻尾 七臣	循環器内科
Hypertens Res 2008;31:1125-1133	Continued high risk of stroke in treated hypertensives in a general population: the Jichi Medical School Cohort study.	石川 鎮清 荻尾 七臣	循環器内科
Hypertens Res 2008;31:1323-1330	Prevalence and determinants of prehypertension in a Japanese general population: the Jichi Medical School Cohort study	石川 陽子 荻尾 七臣	循環器内科
Clin Exp Hypertens 2008;30:255-265	Determinants of self-measured pulse rate profile in medicated hypertensives: the Jichi Morning Surge-1 (JMS-1) study	甲谷 友幸 荻尾 七臣	循環器内科
Hypertens Res 2008;31:817-821	Sleep-predominant lowering of ambulatory blood pressure by bedtime inhalation of a novel muscarinic M3 receptor antagonist: a new "Bronchoantihypertensive" strategy targeting the lung in hypertension with chronic obstructive	荻尾 七臣 島田 和幸	循環器内科
Hypertens Res 2008;31:289-294	Factors associated with incident ischemic stroke in hospitalized heart failure patients: a pilot study	小森 孝洋 荻尾 七臣	循環器内科
Jichi Medical University Journal 2008;31:41-53.	A new portable, bedside apexcardiograph: Development of a prototype and initial clinical	黒木 茂広 荻尾 七臣	循環器内科
Am J Hypertens 2008;21:627-632	Association of body mass index with cognitive function in elderly hypertensive Japanese	坂倉 健一 荻尾 七臣	循環器内科
Hypertens Res 2008;31:649-656.	The influence of wave reflection on left ventricular hypertrophy in hypertensive patients is modified by age and gender.	松井 芳夫 荻尾 七臣	循環器内科
J Hypertens 2008;26:1463-1471	Effect of doxazosin on the left ventricular structure and function in morning hypertensive patients: the Japan Morning Surge 1 study	松井 芳夫 荻尾 七臣	循環器内科
J Hypertens 2008;26:1928-1934	Monitoring of the central pulse pressure is useful for detecting cardiac overload during antiadrenergic treatment: the Japan Morning Surge 1 study.	松井 芳夫 荻尾 七臣	循環器内科
Ther Adv Cardiovasc Dis 2008;2:25-35.	Role of the augmentation index in hypertension.	志水 元洋 荻尾 七臣	循環器内科
Hypertens Res 2008;31:887-896	Effects of strict blood pressure control by a long-acting calcium channel blocker on brain natriuretic peptide and urinary albumin excretion rate in Japanese hypertensive patients	宇野 秀之 荻尾 七臣	循環器内科
Current Hypertension Reviews. 4:214-226, 2008	Blood pressure management in metabolic syndrome.	矢野 裕一朗 荻尾 七臣	循環器内科
Hypertens Res 2008;31:1491-1494	Unresolved issues of the morning blood pressure surge: the next stage of clinical applicability for the morning surge.	矢野 裕一朗 荻尾 七臣	循環器内科
Hypertension. 53:e1, 2008	Possible difference in the sympathetic activation on extreme dippers with or without exaggerated morning surge.	矢野 裕一朗 荻尾 七臣	循環器内科
Eur Heart J 2008;29:1729-1738	Determinants of thrombin generation, fibrinolytic activity, and endothelial dysfunction in patients on dual antiplatelet therapy: involvement of factors other than platelet aggregability in virchow's triad	矢野 裕一朗	循環器内科
自治医科大学紀要31:6, 2008	急性心筋梗塞に使用される2種類の機械的血栓除去デバイスの比較検討-溶血、不整脈、血管障害に関して	池野文昭	循環器内科
自律神経45:134-137, 2008.	Disrupted diurnal BP variation and cardiovascular disease in diabetes:relation to autonomic nervous system. 糖尿病における血圧および心血管疾患の日内変動の消失:自律神経障害との関連.	江口 和男 荻尾 七臣	循環器内科
自治医科大学紀要 31:108, 2008	研究奨励金研究成果報告マウス胚性幹細胞における、Wnt刺激による効率の良い心筋細胞への分化誘導法の開発	上野修市	循環器内科

計 27

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
高血圧管理におけるガイドラインの遵守と目標達成後に関する研究	荻尾 七臣	循環器内科	120万円	補委 循環器病研究委託事業19公一8
我が国における脳卒中再発予防のための急性期内科治療戦略の確立に関する研究	荻尾 七臣	循環器内科	100万円	補委 厚生労働科学研究費
高血圧患者のモーニングサージと血管内皮機能、圧受容体反射の関連	甲谷 友幸	循環器内科	50万円	補委 H20年度自治医科大学医学部研究奨励金
マウス胚性幹細胞を用いた、効率の良い心筋細胞への分化誘導法の開発	上野 修市	循環器内科	120万円	補委 H20年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)(一般)
マウス胚性幹細胞を用いた、効率の良い心筋細胞への分化誘導法の開発	上野 修市	循環器内科	200万円	補委 武田科学振興財団「報彰基金」研究奨励金
難治性心不全に対する免疫吸着療法の開発	山本 啓二	循環器内科	100万円	補委 H20年度厚生労働科学研究費医療技術実用化総合研究事業(臨床研究・予防・治療技術開発研究事業)

計 6

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Blood Press Monit 2008;13:15-20	Cardiovascular prognosis of sustained and white-coat hypertension in patients with type 2 diabetes mellitus	江口 和男 荻尾 七臣	循環器内科
Am J Hypertens 2008;21:443-450	Ambulatory blood pressure is a better marker than clinic blood pressure in predicting cardiovascular events in patients with/without type 2 diabetes.	江口 和男 荻尾 七臣	循環器内科
Hypertens Res 2008;31:1331-1338	Cognitive dysfunction and physical disability are associated with mortality in extremely elderly	星出 聡 荻尾 七臣	循環器内科
Am J Hypertens 2008;21:968.	Determinants of nondipping in nocturnal blood pressure and specific nonpharmacological treatments for nocturnal hypertension.	星出 聡 荻尾 七臣	循環器内科
Geriatr Gerontol Int 2008;8:133-135.	Ischemic nephropathy in an elderly patient	星出 聡	循環器内科
Hypertens Res 2008;31:2045-2051	Plasma tissue inhibitor of matrix metalloproteinase-1 level is increased in normotensive non-dippers in association with impaired glucose metabolism.	石川 譲治 荻尾 七臣	循環器内科
J Clin Hypertens (Greenwich) 2008;10:34-42	Relationship between morning hypertension identified by home blood pressure monitoring and brain natriuretic peptide and estimated glomerular filtration rate: The Japan Morning Surge 1 (JMS-1)	石川 譲治 荻尾 七臣	循環器内科

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限り)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
摂食調節におけるホルモン感受性リパーゼの意義	石橋 俊	内分泌代謝学部門	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
原発性高脂血症に関する調査研究	石橋 俊	内分泌代謝学部門	900,000	補委 厚生労働省科学 研究費補助金
2型糖尿病患者のQOL、血管合併症及び 長期予後改善のための前向き研究	石橋 俊	内分泌代謝学部門	800,000	補委 厚生労働省科学 研究費補助金
安定同位体標識グルコース負荷試験による 包括的糖代謝解析の展開	長坂昌一郎	内分泌代謝学部門	1,170,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
マクロファージにおけるリポ蛋白リパーゼが 動脈硬化形成に及ぼす影響について	野牛 宏晃	内分泌代謝学部門	1,040,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
コレステロールアシル転移酵素アイソザイム ACAT2選択的阻害剤の開発	石橋 俊	内分泌代謝学部門	20,000,000	補委 独立行政法人 医薬基盤研究所
				補委
				補委
				補委
				補委

計 6

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hypertens Res	Cholesterol reduction and atherosclerosis of inhibition by bezafibrate in low density lipoprotein receptor knockout mice.	Inaba, T., Ishibashi, S., et al	内分泌代謝学部門
J Atheroscler Thromb	Pitavastatin decreases plasma pre β 1-HDL concentration and might promote its disappearance rate in hypercholesterolemic patient.	Kawano, M., Ishibashi, S., et al	内分泌代謝学部門
Diabetes Obes Metab	Metformin, but not pioglitazone, decreases postchallenge plasma ghrelin levels in type 2 diabetic patients: a possible role in weight stability?	Kusaka, I., Ishibashi, S., et al	内分泌代謝学部門
Biochem Biophys Res Commun	Induction of ABCA1 by overexpression of hormone-sensitive lipase in macrophages.	Tazoe, F., Ishibashi, S., et al	内分泌代謝学部門
J Biol Chem	Identification of neutral cholesterol ester hydrolase, a key enzyme removing cholesterol from macrophages.	Okazaki, H., Ishibashi, S., et al	内分泌代謝学部門
J Lipid Res	Hormone-sensitive lipase is involved in hepatic cholesterol ester hydrolysis.	Sekiya, M., Ishibashi, S., et al	内分泌代謝学部門

計 6

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	

計

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
栃木看護学会誌 13(1):123-126, 2008	看護記録監査結果からみた監査能力と記録評価の考察-指導前後のスタッフ・師長・委員会監査結果の比較-	大貫紀子	医療情報部

計 1

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
自閉性障害における遺伝子発現プロファイリングによる共通分子機構の解析	桃井 真里子	小児科学	4,940,000	補委 文部科学省科学研究費補助金 基礎研究B
エピジェネティクス機構の解析を中心とした自閉性障害の病因遺伝子解明	山形 崇倫	小児科学	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費補助金 基礎研究C
自閉性障害の病態に關与する遺伝子不活性化異常の解析	中島 尚美	小児科学	1,170,000	補委 文部科学省科学研究費補助金 若手研究B
小児血管腫進展における血管内皮前駆細胞とVEGF、VEGF-Cの役割の解明	中村 幸恵	小児科学	2,340,000	補委 文部科学省科学研究費補助金 若手研究B
変異蛋白が誘導するストレスを原因とする神経(精神)筋疾患に対する治療候補化合物の開発に関する研究	桃井 真里子	小児科学	1,299,160	補委 厚生労働省 政策創薬総合研究事業
先天代謝異常の診断ネットワークを介した長期予後追跡システムの構築	杉江 秀夫	小児科学	1,000,000	補委 厚生労働省 成育医療研究委託費
筋ジストロフィーおよびその関連する疾患の病態生理の解明と治療薬物の開発に関する研究	杉江 秀夫	小児科学	1,000,000	補委 厚生労働省 精神・神経疾患研究委託費
小児行動の二次元尺度化に基づく発達支援策の有効性定量評価に関する研究	杉江 秀夫	小児科学	1,500,000	補委 厚生労働省 障害保健福祉総合研究事業
「周産期母子医療センターネットワーク」による医療の質の評価と、フォローアップ・介入による改善・向上に関する研究	河野 由美	小児科学	3,000,000	補委 厚生労働省 子ども家庭総合研究事業
治験の実施に関する研究[L-アルギニン]	森 雅人	小児科学	1,000,000	補委 厚生労働省 治験推進研究事業

計 10

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本小児科学会雑誌	超低出生体重における甲状腺ホルモン補充療法	小宮山 真美	小児科学
日本小児科学会雑誌	保育園、幼稚園における与薬の実態と問題	清水 純	小児科学
日本小児アレルギー学会雑誌	栃木県における小児気管支喘息治療の実態調査	市橋 光	小児科学
日本周産期・新生児医学会雑誌	当院NICUにおける速乾性擦式消毒剤個人携帯 mupirocin非選択的全例塗布によるMRSA保菌抑制の試	青柳 順	小児科学
小児科臨床	mesodiverticular bandによるイレウスを合併した Meckel憩室の1例	関戸 真理恵	小児科学
小児科臨床	発達障害児への対応にかかわる医療・教育連携のあり方	杉江 秀夫	小児科学
小児科臨床	新生児期発症の原発性硬化性胆管炎	横山 孝二	小児科学

計 7

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
虚血・てんかんにおけるカルシウム代謝異常の細胞生理学的研究	小黒恵司	脳神経外科	1,690,000	補委 文部科学省
光トポによる失語症回復過程を支える脳内機序の解明	渡辺英寿	脳神経外科	5,720,000	補委 文部科学省
てんかんに対する新たな治療法開発と標準化に関する研究	渡辺英寿	脳神経外科	700,000	補委 厚生労働省
パーキンソン病遺伝子治療臨床研究における安全性評価と positron emission tomography (PET) による有効性の評価	加藤正哉	脳神経外科	4,000,000	補委 厚生労働省
血行力学的ストレスの観点からの脳動脈瘤の病態	庄島正明	脳神経外科	1,000,000	補委 文部科学省
失語症における病態生理と機能回復過程の解析	渡辺英寿	脳神経外科	1,300,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構
脳血管障害患者の機能回復過程における脳機能計測および解析	渡辺英寿	脳神経外科	1,898,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構

計 7

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical Neuroscience 26:63-66, 2008	光トポグラフィーによるてんかん焦点診断	小黒恵司	脳神経外科
臨床脳波 50:173-179, 2008	正常圧水頭症の診断におけるNIRSの可能性	庄島正明	脳神経外科
臨床脳波 50:110-117, 2008	光トポグラフィーによる非浸襲的言語機能の計測	小黒恵司	脳神経外科
臨床脳波 50:38-46, 2008	酸素吸入光トポグラフィーによる脳虚血診断法	田中裕一	脳神経外科
神経内科 38:70-81, 2008	高次脳機能障害の画像診断	小黒恵司	脳神経外科
BRAIN and NERVE 60:547-553, 2008	酸素吸入光トポグラフィーによる脳虚血診断法の開発	海老原彰	脳神経外科
脳血管攣縮 24:5-10, 2008	光トポグラフィによる脳血管攣縮の早期診断の試み	田中裕一	脳神経外科

計 7

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Digestive Diseases 9 : 213-218	Clinicopathological study of lymph-node metastasis in 1389 patients with early gastric cancer : Assesment of indications for endoscopic resection. , 2008.	Haruta, H.	消化器・一般外科
Diseases of the Colon & Rectum 51 : 1529-1534	Colonoscopic stigmata of 1 mm or deeper submucosal invation in colorectal cancer.	Horie, H.	消化器・一般外科
Diseases of the Esophagus 21 : 275-278	A new operative technique for the resection of gastric tube cancer by means of lifting the anterior chest wall and videoscope-assisted surgery.	Hosoya, Y.	消化器・一般外科
Gastric Cancer 11 : 123-126	Multiple gastric carcinoids associated with parietal cell hyperplasia : intraoperative detection with a radiolabeled somatostatin analog.	Hosoya, Y.	消化器・一般外科
Journal of Endocrinology 197 : 221-229	Sub-chronic stimulation of glucocorticoid receptor impairs and mineralocorticoid receptor protects cytosolic Ca ²⁺ responses to glucose in pancreatic β -cells.	Koizumi, M.	消化器・一般外科
Cancer Science 99(9) : 1835-1840	Chromosome copy number analysis in screening for prognosis-related genomic regions in colorectal carcinoma.	Kurashina, K.	消化器・一般外科
Surgery Today 38 : 20-25	Prevalence of synchronous colorectal neoplasms detected by colonoscopy in patients with gastric cancer.	Saito, S.	消化器・一般外科
Abdominal Imaging xx : 1-8	Preoperative virtual simulation of adrenal tumors.	Shiozawa, M.	消化器・一般外科
Diseases of the Colon & Rectum 51 : 196-201	Prospective observation of small adenomas in patients after colorectal cancer surgery though magnification chromocolonoscopy.	Togashi, K.	消化器・一般外科
癌の臨床55(2) : 121-126	下部直腸癌に対する術前放射線と即方郭清併用の有効性.	宮倉安幸	消化器・一般外科
JOP. 10 : 59-63	Pancreatic arteriovenous malformation : a case report of hemodynamic and three-demensional morphological analysis using multi-detector row computed tomography and post-processing methods.	Endo, K.	消化器・一般外科
Abdominal Imaging 34 : 113-120	Preoperative virtual simulation of adrenal tumors.	Shiozawa, M.	消化器・一般外科
Annals of Thoracic Surgery. 87(2) : 647-649	Esophagectomy and gastric pull-up in patients with previous free jejunal transfer.	Hosoya, Y.	消化器・一般外科
Gastrointestinal Endoscopy69(suppl 3) : 734-741	A comparison of conventional endoscopy, chromoendoscopy and optimal band imaging system for the differentiation of neoplastic versus non-neoplastic colonic polyps.	Togashi, K.	消化器・一般外科

計 22

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
長期臥床を必要とする傷病者に対するポータブル褥創防止デバイスの開発	堀江久永	消化器外科	2,200,000	補委 文部省科学研究費補助金(日本学術振興会)
大腸癌術後に前向きに経過観察された大腸腺腫の発生・増大に関わる遺伝子異常の検索	富樫一智	消化器外科	700,000	補委 文部省科学研究費補助金(日本学術振興会)
				補委
				補委
				補委
				補委

計 2

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本消化器外科学会雑誌41(10):1780-1784	化学放射線療法後救済手術を行った右側大動脈弓を伴う胸部食道癌の1例.	熊野秀俊	消化器・一般外科
栃木県医学会会誌38:93-98	消化器癌早期発見の最新の工夫と治療戦略.	細谷好則	消化器・一般外科
日本消化器外科学会雑誌41(6):711-716	急速に増大した腹腔内転移性悪性線維性組織球腫の1例.	宮倉安幸	消化器・一般外科
早期大腸癌12(4):395-399	NBI/FICE拡大観察によるpit pattern診断(6) pit pattern診断におけるFICE位置付けと今後の展望.	富樫一智	消化器・一般外科
胃と腸43(6):901-909	大腸の新しい内視鏡診断 FUJI Intelligent Color Enhancement (FICE).	富樫一智	消化器・一般外科
Gastroenterological Endoscopy50(6):1461-1465	大腸の内視鏡的粘膜切除で噴出性出血を来した輸血拒否患者の経験.	吉澤浩次	消化器・一般外科
腎と透析65(3):375-381	【知っておきたい最新の腎移植知識】再腎移植の適応とその問題点.	佐久間康成	消化器・一般外科
Medical Practice 25(臨増):433-442	【新・凶解救急・応急処置ガイド 救急・応急時に必ず役立つ基本手技と処置のすべて】緊急検査法 適応と読影 緊急エコー	安田是和	消化器・一般外科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
網膜への酸素負荷にともなう炎症反応について	茨木信博	眼科学	5,029,000	補委	日本私立学校振興・共催事業団
				補委	
				補委	

計 1

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
あたらしい眼科	自治医科大学緑内障外来にて交通事故の既往を認めた末期緑内障患者の2症例	青木由紀	眼科学
眼科臨床紀要	外斜視に移行した調節性内斜視の検討	保沢こずえ	眼科学
眼科臨床紀要	観血的に除去した内斜視を伴った瞳孔膜遺残の1例	牧野伸二	眼科学
眼科臨床紀要	乳児内斜視に対するプリズム治療後の視力	牧野伸二	眼科学
あたらしい眼科	内境界膜下出血、網膜下出血を伴ったTerson症候群の1例	牧野伸二	眼科学
あたらしい眼科	ロービジョン外来受診患者の読書能力	牧野伸二	眼科学
眼科臨床紀要	強膜バックリング術後の複視に対してMRIが有用であった1例	大河原百合子	眼科学
臨床眼科	自治医科大学眼科における時間外救急診療の統計的観察	佐々木誠	眼科学
眼科臨床紀要	日本人成人の眼球形状の左右差	杉紀人	眼科学
臨床眼科	成人の眼球形状の性差と年代による推移	杉紀人	眼科学
Japanese Journal of Ophthalmology	The additive effects on intraocular pressure of combining nipradilol 0.25% and latanoprost 0.005% ophthalmic solutions: a prospective, randomized, multicenter study	水流忠彦	眼科学

計 11

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
がんの診断治療用光学機器の開発	山本博徳	光学医療センター	1,800千円	補委 厚労省科学研究費
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 1

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Endoscopy 40(9): 779-783, 2008	Double-balloon endoscopy.	Yamamoto H	光学医療センター
Gastrointest Endosc 67(6): 830-839, 2008	Usefulness and safety of 0.4% sodium hyaluronate solution as a submucosal fluid "cushion" in endoscopic resection for gastric neoplasms: a prospective multicenter trial.	Yamamoto H	光学医療センター
Gastrointest Endosc Clin N Am 19(3): 325-333, 2008	Technology and indications.	Sunada K, Yamamoto H	光学医療センター

計 3

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
小児重症気管狭窄症に対するハイブリッド型気管移植法の開発	前田貢作	小児外科	1,600,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 1

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
小児科診療 71(4):601-607	胸部疾患：気道の先天性疾患	前田貢作	小児外科

計 1

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	佐田尚宏	鏡視下手術部	580,000	補委 厚生労働省 医療技術実用化 総合研究事業
がん検診に有用な新しい腫瘍 マーカーの開発に関する調査研 究班	佐田尚宏	鏡視下手術部	3,000,000	補委 厚生労働省 第3次対がん総 合戦略研究事業
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 2

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
治療薬・治療指針、東 京、羊土社、523-529	月経困難症、婦人科感染症.	藤原寛行	鏡視下手術部
臨床婦人科産科 62 : 1291-1296	進行期別の上皮性卵巣癌治療戦略.	藤原寛行	鏡視下手術部
最新医学・別冊 新しい 診断と治療のABC54消化器 8 膵炎・膵癌, pp100- 106	慢性膵炎 外科治療・予後.	佐田尚宏	鏡視下手術部
臨床外科63(12) : 1537- 1543	【十二指腸病変に対する外科的アプロ ーチ】膵温存十二指腸第2・3部切除術.	佐田尚宏	鏡視下手術部
胆道22(4) : 581-590	胆道専門医講座 長期生存が可能なss胆嚢 癌の基礎知識 診断の立場から CT 胆嚢 癌のMD-CT診断.	佐田尚宏	鏡視下手術部
Int J Gynecol Cancer. 18(1) : 165-167	Omental metastasis in clinical stage I endometrioid carcinoma.	Fujiwara, H.	鏡視下手術部

計 6

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
				補	
				補	
				補	
				補	
				補	
				補	
				補	
				補	
				補	
				補	
				補	
				補	
				補	

計

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本手術医学会誌 29(2):119-120, 2008	手術中の安全確認行動の基準化による事故防止の有用性	平塚康子	中央手術部
日本手術医学会誌 29(1):61-64, 2008	手術件数増加の実情と今後の対策	井上荘一郎	中央手術部
日本手術医学会誌 29(2):161-162, 2008	全身麻酔下での手術における最適な体温を維持する検討	磯 徳子	中央手術部

計 3

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	

計

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Orthop Relat Res.	Postoperative lateral ligamentous laxity diminishes with time after TKA in the varus knee.	SEKIYA H	リハビリテーション
運動療法と物理療法	片側人工膝関節全置換術術後の下肢挙上筋力評価	川合直美	リハビリテーション
膝	内反変形膝TKAでの内側軟部組織解離が屈曲位・伸展位での内外側バランスに与える影響 PSタイプTKAでの報告.	関矢仁	リハビリテーション
東日本震災外科雑誌	吸引ドレーンチューブの接続部強度について	関矢仁	リハビリテーション

計 4

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委

計

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日口診誌 21(2):169-173 2008年10月	ピラン型の扁平苔癬の難治化に関する検討-歯周病との関連について	内藤浩美、大橋一之、神部芳則、野口忠秀、草間幹夫	歯科口腔外科
歯科放射線 48(1):8-11 2009年3月	Square-Mandible顔貌を伴う開口制限の1例	岡田成生、上野泰宏、星健太郎、伊藤弘人、神部芳則、草間幹夫	歯科口腔外科
栃木歯医学会誌 60:133-137 2008年8月	下顎骨骨髓炎に対する高気圧酸素療法の有効性の評価	土屋欣之、山下雅子、福島聡、早坂純一、中山竜司、伊藤弘人、野口忠秀、小佐野仁志、神部芳則、草間幹夫	歯科口腔外科
栃木歯医学会誌 60:139-143 2008年8月	当院における入院患者への口腔ケアの実態と当科の取り組み	土屋欣之、山下雅子、早坂純一、中山竜司、伊藤弘人、野口忠秀、小佐野仁志、神部芳則、草間幹夫	歯科口腔外科
日口診誌 22(1):96-99 2009年3月	SLE患者の耳下線にみられた線維素性唾液管炎と 思われた1例	宮城徳人、野口忠秀、伊藤弘人、松本浩一、神部芳則、草間幹夫	歯科口腔外科
日口外誌 55(1):22-24 2009年1月	舌に発生した筋繊維腫様病変の1例	中山竜司、星健太郎、岡田成生、篠崎泰久、神部芳則、草間幹夫	歯科口腔外科
口腔腫瘍 21(1):45-50 2009年3月	下顎骨再建プレートと軟組織再建を用いた下顎再建例における合併症の検討	野口忠秀、土屋欣之、伊藤弘人、松本浩一、小佐野仁志、神部芳則、草野幹夫	歯科口腔外科
日口外誌 55(1):19-21 2009年1月	下唇に生じた放射菌症の1例	上野泰宏、神部芳則、篠崎泰久、草野幹夫	歯科口腔外科
Oral Med Pathol 12(3):97-99 2008年6月	Oral ulceration due to an antirheumatic drug (methotrexate) Report of a case.	Jinbu Y. Obi Y. Kawa R. Ikeda K. Kusama M. Tsukinoki K.	歯科口腔外科
The Bull Kanagawa Dent. Col. 37(1):13-17 2009年3月	Immunohistochemical Analysis For Stathmin Expression Pattern and Invasion Mode of Tongue Cancer.	Jinbu Y. Obi Y. Ohyatsu Y. Ueno Y. Hayasaka J. Shinozaki Y. Ikeda K. Itoh H. Noguchi T. Kusama M. Tsukinoki K.	歯科口腔外科
Asian J Oral Maxillofac Surg 20:89-93,2008年6月	Chronic Paracoccidioidomycosis in Japan.	Lumi. thais. Sunada Yoshinori. Jinbu Yuka	歯科口腔外科

計 17

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
トキシコゲノミクス研究の臨床への展開	草間 幹夫	歯科口腔外科	1,800,000	補委 厚生科学研究費補助金
メタボリックシンドロームの保健指導に歯科的な観点を導入することの効果に関する研究	草間 幹夫	歯科口腔外科	700,000	補委 厚生科学研究費補助金
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 2

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日口粘膜誌 14(2):46-50, 2008年12月	小児に生じた肉芽種性口唇炎の1例	河瑠珠、神部芳則、小尾友梨、池田薫、草間幹夫、出光俊郎	歯科口腔外科
栃木歯医学会誌 60:113-115 2008年8月	舌根部に発生した骨性分離腫の1例	草間幹夫、鹿志村圭、野口忠秀、中山竜司、早坂純一、伊藤弘人、寺内由佳	歯科口腔外科
栃木歯医学会誌 60:101-105 2008年8月	Vitamin B12欠乏症による委縮性舌炎の2例	草間幹夫、河瑠珠、池田薫、小尾友梨、佐瀬美和子、野口忠秀、神部芳則	歯科口腔外科
栃木歯医学会誌 60:107-111 2008年8月	ステロイドが著効したMikulicz病の1例	草間幹夫、折居大輔、松村俊男、大谷津幸生、早坂純一、伊藤弘人、上野泰宏、神部芳則	歯科口腔外科
栃木歯医学会誌 60:117-119 2008年8月	長期におよぶ歯痛と咬合異常を主訴とした1例	草間幹夫、小佐野仁志、高橋淳、平塚正樹、吉田佳織	歯科口腔外科
茨城歯医学会誌 16:6-9 2008年8月	舌尖部に生じたverrucous carcinomaの1例	宮城徳人、星健太郎、串田淳子、松村俊男、野口忠秀、神部芳則、草間幹夫	歯科口腔外科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	

計

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical and Experimental Nephrology online first	Physicians make different decisions from nephrologists at serum creatinine 2.0 mg/dl.	Tamba K, Kusano E, Tabei K, Kajii E, Asano	緩和ケア部

計 1

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	

計

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
心身医学 48:965-970	身体表現性障害と語り NBMにおける語りの治療的意義の検討	岡島美朗	精神腫瘍部
臨床精神病理 29:94	双極性うつ病の精神病理 躁病相を示さない症例の気分変動に着目して	岡島美朗	精神腫瘍部

計 2

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
胎生期大動脈由来Sca-1陽性細胞の腎内皮障害に対する有用性	伊藤 千春	腎臓内科	1,200,000円	補委 文部科学省 科学研究費
異種移植に向けた後腎グラフトの内分泌機能についての検討	武田 真一	腎臓内科	1,300,000円	補委 文部科学省 科学研究費
皮質集合管のナトリウム再吸収と連動しないカリウム分泌機序の解明	武藤 重明	透析部	2,100,000円	補委 文部科学省 科学研究費
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 3

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
腎と透析 66(3):328-332,2009	腎間葉細胞移植による腎機能再生	武田 真一	腎臓内科
Tohoku journal of experimental medicine	TGF-beta inhibits vascular sprouting through TGF-beta type I receptor in the mouse embryonic	伊藤 千春	腎臓内科
Kidney International 75(11):1173-1183,2009.	Transactivation of RON receptor tyrosine kinase by interaction with PDGF receptor beta during steady-state growth of human mesangial cells.	小林 高久	腎臓内科
Kidney International 75(1):25-30,2009.	Basolateral Na ⁺ /H ⁺ exchange maintains potassium secretion during diminished sodium transport in the rabbit cortical collecting duct.	武藤 重明	透析部

計 4

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
パーキンソン病遺伝子治療臨床研究における安全性評価とpositron emission tomography(PET)による有効性の評価	中野今治	神経内科学部門	58,685,000	補委 厚生労働省
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 1

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Neurosci Res	Activated microglia affect the nigro-striatal dopamine neurons differently in neonatal and aged mice treated with 1-methyl-4-phenyl-1,2,3,6-tetrahydropyridine.	中野今治	神経内科

計 1

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
稀少難治性皮膚疾患に関する研究調査	小宮根真弓	皮膚科学	150万円	補 委	厚生労働省 難治性疾患克服研究事業
炎症性皮膚疾患におけるケモカインの発現制御に関する研究	小宮根真弓	皮膚科学	70万円	補 委	文部科学省科学研究費
皮膚悪性腫瘍に対する新規サイトカイン療法への探索研究	佐藤篤子	皮膚科学	100万円	補 委	文部科学省科学研究費
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	

計 3

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cytokine	CCR4 and CCR10 are expressed on epidermal keratinocytes and are involved in cutaneous immune reaction CCR4 and CCR10 are expressed on epidermal keratinocytes and are involved in cutaneous immune reaction	Fujimoto S	Dermatology
The Journal of Dermatology	Juvenile pustular psoriasis associated with steroid withdrawal syndrome due to topical corticosteroid.	Saeki H	Dermatology
皮膚科の臨床	強直性脊椎炎型関節症性乾癬の1例	和泉里江子	Dermatology
日本皮膚科学会雑誌	腎障害を伴った汎発性膿疱性乾癬	南谷洋策	Dermatology

計 4

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
蛍光ラットを用いた脂肪移植の実験	須永 中	形成外科	1,100,000	補委	文部科学省 科学研究費補助金
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	

計 1

合計 60

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
頭頸部癌34(1):24-30	上顎上方垂摘出術後の遊離骨付前腕皮弁による即時再建.	去川俊二	形成外科
PEPARS 23:69-72	【切開とアプローチの基本戦略】部位別の切開とアプローチ 頬部での切開とアプローチ.	去川俊二	形成外科
標準形成外科, 医学書院, 102-106	先天異常各論 頭蓋・顔面 頭蓋縫合早期癒合症、頭蓋顔面異骨症、眼窩隔離症	菅原康志	形成外科
頭蓋顎顔面外科, 克誠堂, 100-107	MCDO system (R) による骨延長法 アドバンスシリーズ	菅原康志	形成外科
口と歯の事典, 東京, 朝倉書店, 228-230	進行性顔面半側萎縮症.	菅原康志	形成外科
形成外科51(11):1249-1258	【顔面非対称の治療戦略】顔面非対称の評価と治療法の選択.	菅原康志	形成外科
EMERGENCY CARE 21(10):982-986	【今日からできる救急-ICUでの創傷ケア】創傷ケアの実際 外傷の場合.	須永 中	形成外科
形成外科51(増刊):S90-S93	【外科系医師のための『創傷外科』update】創傷外科各論 急性創傷 特殊な外傷 電撃傷.	宇田宏一	形成外科
PEPARS 20:78-84	【眼の整容外科】真皮脂肪移植.	宇田宏一	形成外科

計 9

合計208

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 島田 和幸
管理担当者氏名	病院事務部長 高橋 喜代志

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病歴室及びそれぞれの部署にて電子管理	患者ごとの患者受信登録番号による
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営管理課	
	高度の医療の研修の実績	経営管理課	
	閲覧実績	経営管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	経営管理課及び薬剤部	
確規保則の第 9 条の 2 及び第 1 条の 1 各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	人事課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	人事課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	人事課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	経営管理課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策部	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全対策部		

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全対策部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全対策部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	用度課及び臨床工学部
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全対策部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 島田 和幸
閲覧担当者氏名	病院事務部長 高橋 喜代志
閲覧の求めに応じる場所	会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	65.8 %	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		23,346人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		22,300人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,256人
	D: 初診の患者の数		49,006人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
・ 所属職員： 専任 (4) 名 兼任 (11) 名 ・ 活動の主な内容： 研修会、講演会の企画・運営 事例の情報収集・分析・検討 医療安全対策委員会 リスクマネージャー会議の開催	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
・ 指針の主な内容： 基本理念 医療安全対策委員会・院内組織に関すること 重大事故の発生時の対応	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容： 報告件数の推移を報告 事例報告・検討 対応・改善策の提案	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 35 回
・ 研修の主な内容： 輸液・シリンジポンプ研修 中心静脈カテーテル挿入認定講習 エコー下中心静脈カテーテル挿入研修 研修医研修	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 危険だと感じるところを報告するシステムのKYポスト (危険予知報告システム) 事例検討会 院内巡視 勉強会 講演会	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： 総則 院内感染対策に関連する委員会に関する基本的事項 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針 感染症の発生状況の報告とその対応に関する基本方針 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 その他の院内感染対策の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： シーズンに合わせた感染症発生状況報告や事前対策の検討 感染対策上必要な医薬品の採用のための意見交換 高度耐性菌発生状況報告と対策の検討 針刺し状況報告と職業感染防止の検討 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 62 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 医療安全対策部との合同の院内講演会 中途採用者・派遣帰院者向けの安全対策部との合同の講義 新入職者にたいする感染管理の講義 ICT巡視後フォローの各部署別勉強会 リンクスタッフスタディ 委託業者に対する感染管理講義 各部署から依頼の感染対策勉強会 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 臨床微生物検査室では、病原体分離及び存在の確認、分離細菌の薬物耐性パターンなどの分析を行っている。この疫学情報は、日常的に臨床側及び感染制御部へフィードバックされている。 感染制御部では、この情報を基に、微生物の分離率並びに感染症の発生動向を注視する。また、主治医及び病棟、もしくは病院全体へ、適切な院内感染対策部防止対策及び制圧策を指導し、相談している。 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>4/3 新人看護師研修会（麻薬・向精神薬・毒薬等の取り扱いと管理）</p> <p>4/4 レジデントオリエンテーション（薬の処方及び麻薬の取り扱い）</p> <p>6/2 医薬品使用に関する安全管理（与薬のインシデント防止）</p> <p>7/11 2A病棟看護師研修（麻薬・向精神薬・毒薬の院内取り扱いについて）</p> <p>11/26 医薬品安全管理研修会（麻薬の取り扱い・医薬品安全使用のための講演会）</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 （有・無）</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>手順書の改定と危険薬の再周知</p> <p>定数配置された向精神薬・毒薬の管理票に基づく管理</p> <p>救急カート整備マニュアルの改訂</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>注射用メソトレキセート5mg供給再開遅れに伴う注意喚起</p> <p>期限切れ注射薬使用による医療事故防止対策</p> <p>医療安全対策VTR（薬剤部編）作成</p> <p>サリドマイド製剤（サレドカプセル）入院時持参薬の取り扱いマニュアル作成</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 14 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>①人工呼吸器について（医師、看護師対象）</p> <p>②輸液シリンジポンプについて（看護師対象）</p> <p>③除細動器について（医師対象）</p> <p>④AEDについて（看護師、歯科衛生士等対象）</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 （有・無）</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>①人工心肺装置及び補助循環装置 ②人工呼吸器 ③血液浄化装置 ④除細動装置</p> <p>⑤閉鎖式保育器 ⑥診療用高エネルギー放射線発生装置 ⑦診療用放射線照射装置について保守点検計画を策定し実施している。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>①医療機器の安全使用のために必要な情報を収集した場合は、共通の認識を持つために関連部署への情報提供</p> <p>②医療機器の安全使用のための研修会実施</p> <p>③医療機器の安全使用を目的とした事例の分析、検討、報告</p> <p>④医療安全対策部において医療安全に係る情報を掲載した「あんぜん便り」という文書を作成、各部署に配布することにより、医療機器の安全使用を目的とした改善策等についての情報を提供している。</p>	